みどりの東北
Midori no Tohoku

No.260
令和７年 2025.11
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office

CONTENTS

特集コーナー …… 1
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 2
地域発NEWS …… 3～6
国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 7～8
地域のこの人 …… 9
イベント情報・採用情報 …… 10

蔵王の御釜（宮城県刈田郡蔵王町）
［提供：仙台森林管理署］

今月の Topics

●第48回全国育樹祭が宮城県で開催

10月４日と５日に第48回全国育樹祭が「次世代へ　みどりのかけ橋　森づくり」をテーマに宮城県で開催され、秋篠宮ご夫妻が樹木のお手入れや式典行事に臨まれました。

式典会場のおもてなし広場には、仙台森林管理署が出展し、造林事業や森林被害を遊びながら学べるオリジナルのカードゲーム「ZORING」などを紹介しました。

●森林計画の策定に向けた意見を募集しています

11月１日（土）から15日（土）まで地域管理経営計画の策定に向け、皆様の意見を募集しています。

地域管理経営計画は、国有林野の管理経営に関する基本的な事項等を定めるもので、今回、意見を募集する森林計画区は、①津軽（青森県：津軽署・金木支署）、②久慈・閉伊川（岩手県：三陸北部署・久慈支署）、③置賜（山形県：置賜署）の３計画区です。

詳しくはこちら→

特集コーナー

国有林野で今起こっている最新情報を
お伝えしています。

白神山地周辺地域における「自然再生活動」の実施

津軽白神森林生態系保全センター

白神山地周辺地域で、一般公募により参加者を募り、広葉樹の掘り取り植え付け作業を行う「自然再生活動」を実施しました。

白神山地世界遺産地域は日本海型の典型的なブナ林を主体とする原生林が分布し、雄大な山岳景観とともに、動植物相の多様性で世界的にみても極めて貴重な自然が残されています。

その周辺地域の青森県側の北側には森林空間利用タイプ（国民の皆さまに憩いや体験・学習等の森林とふれあいの場所を提供することを重視した森林）に類型区分された国有林があります。その中には、戦後の拡大造林によりスギを主体とする人工林が分布しており、標高の高い区域では広葉樹の侵入がみられます。平成19年に「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」が立ち上がり、多様な各団体により、広葉樹が侵入した人工林等を対象にした自然再生や植林活動などのボランティア活動が行われておりました。

このような中、自然再生に向けた方向性を示すとともに、ボランティア活動の指針を作成して自然再生活動を推進することが必要となり、当局では、平成20年度に学識者からなる「白神山地周辺地域自然再生調査検討委員会」を設置し、白神山地周辺地域における自然再生の方向性を取りまとめた計画書を平成21年３月に策定しました。

計画書では、自然再生の基本的な方向として、（１）息の長い森林作り（２）自然環境の保全・再生（３）人との関わりを重視した森林づくり（４）多様な参加主体による整備の４つの考え方が示されました。

当センターでは、平成22年度より、この計画書に基づき自然再生活動として一般参加者を対象にブナ等広葉樹の稚樹の採取及び植樹体験を実施しております。

今年度１回目は６月28日に西目屋村鬼川辺国有林180ろ２林小班にて、参加者７名とセンター職員４名で実施しました。実施内容は予め当センターが近隣から採取し仮植していたブナ、ミズナラ、イタヤカエデ、トチノキ稚樹計約20本の掘り取り植え付け作業を実施しました。当日は天候がとても良く気温も高くなり、ハードな作業となりましたが、皆さんこまめに水分補給をしながら頑張って作業されておられました。その後、昨年度植え付けした箇所の生長ぶりを見学頂き、午後からは、津軽峠から巨木ふれあいの径を約１時間散策しマザーツリー後継の白神いざないツリーを鑑賞して終了しました。

スギ人工林を広葉樹林化していくには100年単位の息の長い取り組みが必要です。当センターでは今後もこの活動に多様な参加を得ながら、生物多様性の向上や地域づくりに貢献していきます。

植え付け作業の様子

いざないツリーで記念撮影

使える！

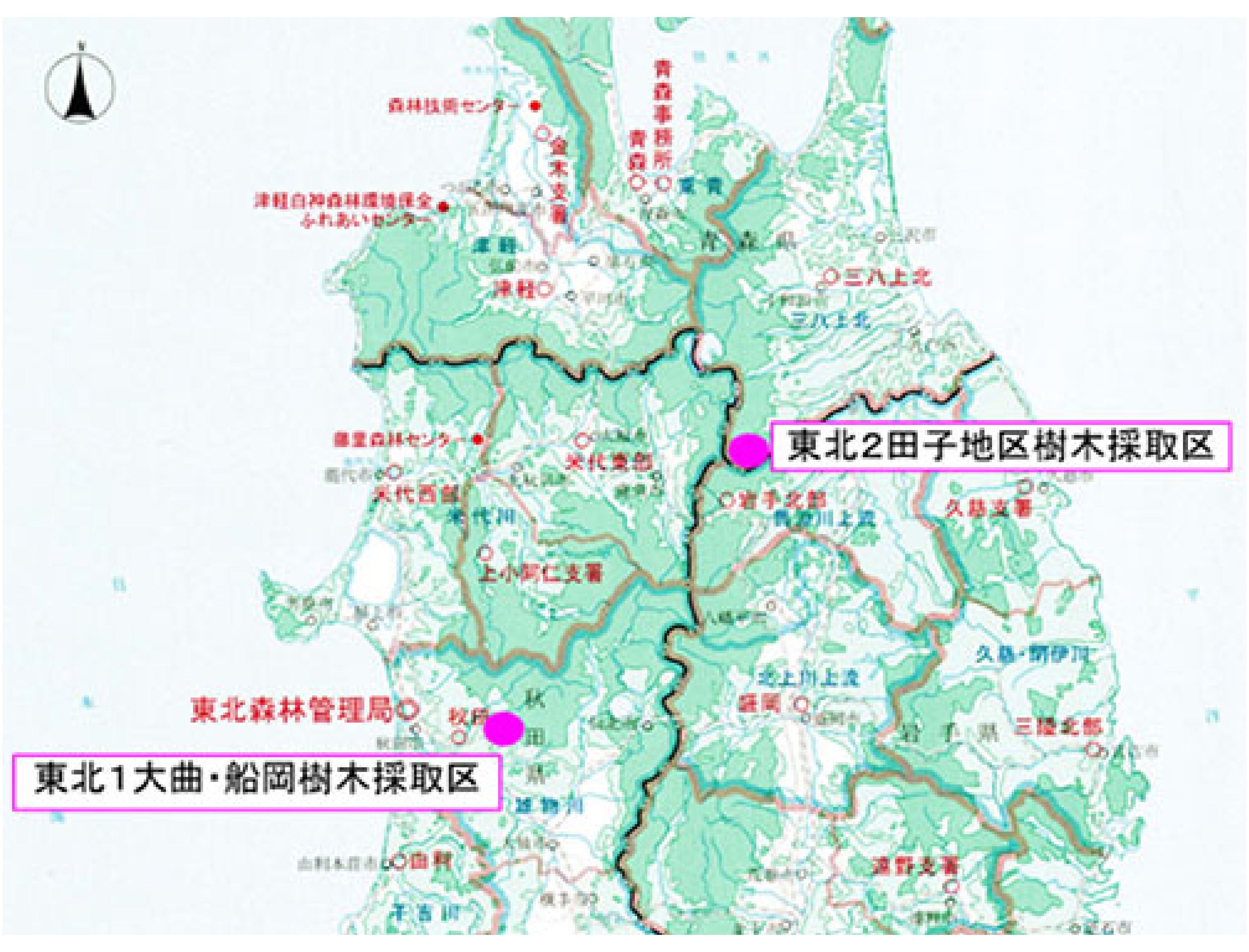
行政情報＆研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

樹木採取権制度の取組

令和２年４月１日に「国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する法律」が施行され、「樹木採取権制度」が始まりました。「樹木採取権制度」は、国有林野の一定区域を樹木採取区として指定し、当該区域で一定期間、安定的に樹木を採取できる権利を民間事業者に設定する制度です。長期の事業量の見通しが立つため、機械導入や雇用の進展が期待されます。

当局管内では、東北１大曲・船岡樹木採取区（秋田森林管理署管内）と東北２田子地区樹木採取区（三八上北森林管理署管内）の２箇所を樹木採取区として設定し、それぞれ事業者が決定しています。


森林技術センター
青森事務所
津軽白神森林環境保全ふれあいセンター
金木支署
青森
東青
津軽
青森県
三八上北
東北2田子地区樹木採取区
米代東部
米代西部
米代川
岩手北部
馬淵川上流
久慈支署
上小阿仁支署
久慈・閉伊川
北上川上流
盛岡
岩手県
三陸北部
東北森林管理局
秋田
東北1大曲・船岡樹木採取区
雄物川
由利
子吉川
遠野支署

東北森林管理局管内における樹木採取区の所在地

管内２箇所の樹木採取区はともに８年間の権利設定となります（令和４年から令和12年）。森林管理署等で実施している立木販売の入札とともに「樹木採取権制度」を活用していくことで、国有林野の管理経営の目標の１つである「林産物を持続的かつ計画的に供給」を果たすとともに、民間事業者の育成に貢献できるように取り組んでまいります。

ご関心のある方は、東北森林管理局資源活用課（TEL：018-836-2149）へお問合せ下さい。

普及資料「品質の確かな人工乾燥材の生産に向けて」の紹介

一般の木造住宅に使用されている無垢の柱材は、無背割りの心持ち材※が大部分を占めています。無背割りの心持ち材は表面割れが発生しやすいので、その防止のため人工乾燥時には100℃超の高温・低湿条件の乾燥前処理（高温セット処理）を採用する工場が多いです。しかし、高温セット処理条件やその後の乾燥条件によっては、乾燥後の製材の強度性能が低下する可能性が示唆されており、建築関係者から一般に流通している人工乾燥材について乾燥条件および強度性能の関係を明確化する資料の提供を求められています。

このような状況で、一般社団法人全国木材組合連合会は有識者らによる検討委員会として「人工乾燥材実態調査委員会」を設置し、令和元年度から３年間、国産針葉樹の乾燥条件と強度性能との関係に関する調査・試験を実施しました。筆者も有識者の一員として本事業に参画しました。

これらの事業で得られた調査・試験結果を基に、同様に設置した「人工乾燥材普及資料作成委員会」において、エンドユーザーが人工乾燥材に望む品質を明らかにするとともに、乾燥条件と割れ及び強度性能との関係に焦点を絞って取りまとめました。この資料は一般社団法人全国木材組合連合会のWebサイトからダウンロード可能です。国産針葉樹の人工乾燥材の品質に関する分かりやすい資料となっているので、乾燥材に関わりのある方にご活用いただければ幸いです。

※切断面に木の中心部分を含む材のうち、乾燥収縮によるひび割れを防ぐ為背面にあらかじめ割れ目を入れる「背割り」が施されていない材。

令和４年度　品質・性能を確保した乾燥材の供給に向けた技術資料の作成及び普及　技術資料
「品質の確かな人工乾燥材の生産にむけて」
一般社団法人全国木材組合連合会Webサイト→

ご関心のある方は、秋田県立大学木材高度加工研究所（TEL：0185-52-6900）へお問合せ下さい

地域発NEWS
（治山・林道事業の取組）

各（支）署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

地すべりから地域を守る　岩手

三陸北部森林管理署久慈支署

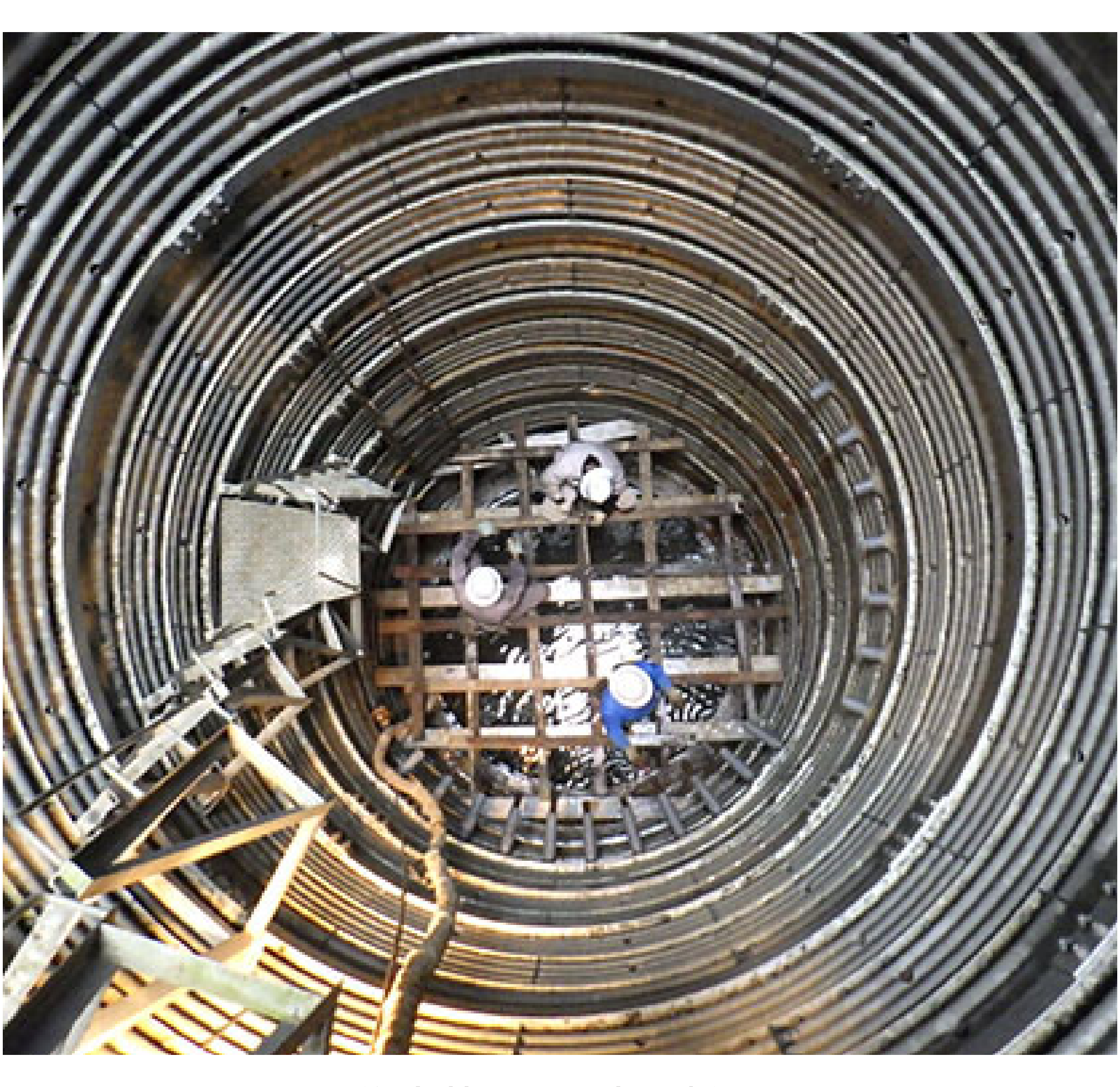
当署管内の久慈市にある三崎山国有林において、平成23年３月に発生した東北地方太平洋沖地震の被害状況を把握するための調査を行ったところ、地すべりが発生していることがわかりました。

地すべりとは、斜面が地下水の影響と重力によって、斜面の下方に移動する現象であり、周辺の地域に大きな被害をもたらします。

当署では令和元年度までに、地すべりの被害を抑える工事として、発生原因となる地下水を排水するために、地中に地下水を集める管を埋め、比較的浅い位置の地下水を排水するボーリング暗渠工や、より深い位置の地下水を排水する集水井工などを施工してきました。

その後の継続調査の結果、地すべり活動は緩やかになっているものの、追加の対策が必要であると考え、令和４年から新しく深さ28.5mの集水井工を計画し、令和６年11月に完成させました。

現在、地すべり箇所に大きな異常は確認されていませんが、今後も継続的な監視・観測を行い、必要な対策を実施し、地域の方が安心安全に生活できるように取り組んでいきます。


集水井工の工事の様子

遠隔臨場を活用した効率的な現場管理　山形

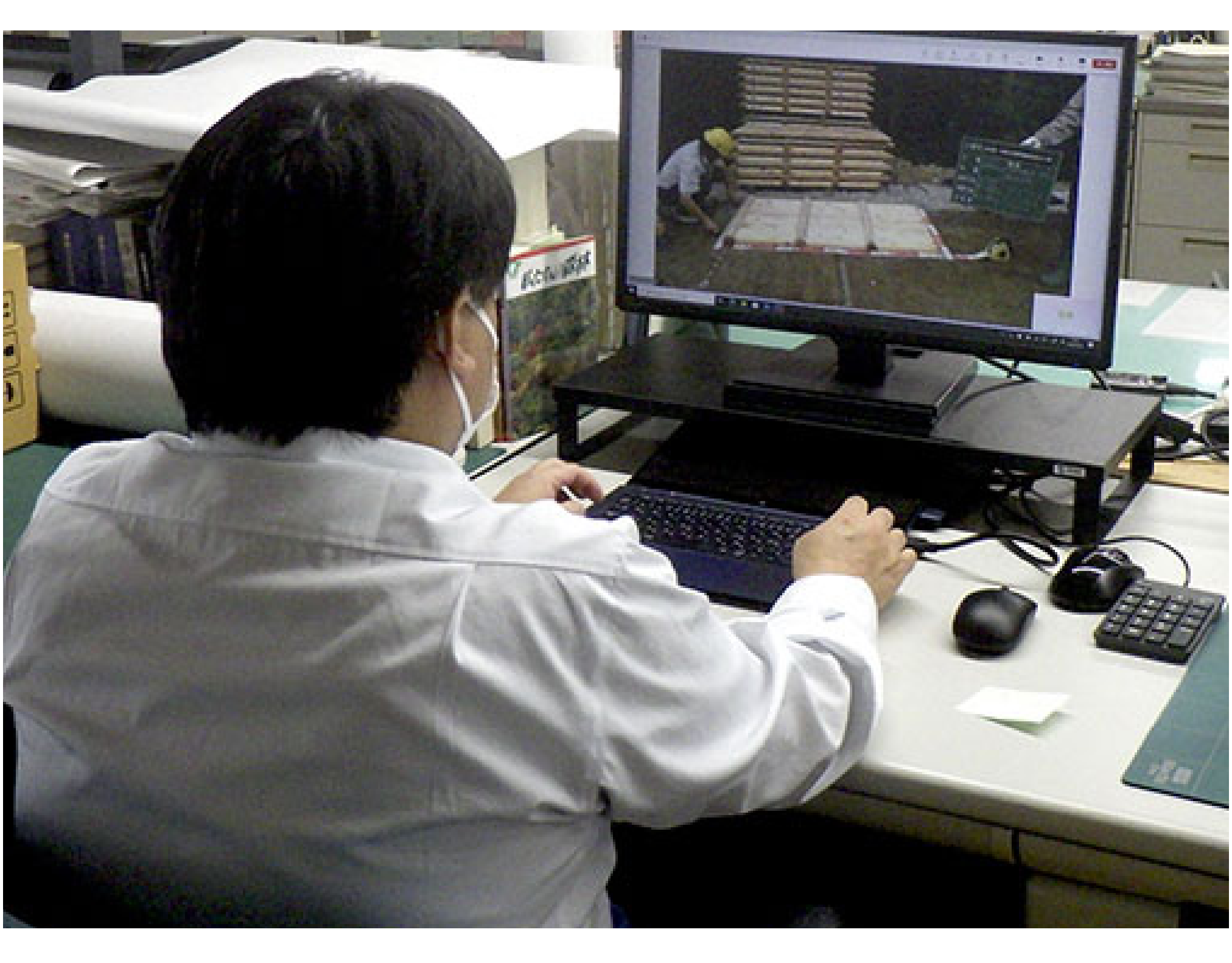
山形森林管理署

森林管理署で行う治山工事は山間奥地が多く、車で１時間以上かけて工事現場まで確認に行かなければなりません。受注者側にとっても発注者の移動時間を踏まえて工事現場の確認のための時間を設定しなければならず、双方の負担となっています。

遠隔臨場とはWeb会議等で使用されている双方向通信を利用し、事務所と工事現場をつなぎ、パソコンの画面から工事の進捗や使用材料の確認を行うことです。

治山工事を行う山間奥地では従来、通信環境が整備されておらず遠隔臨場の実施は困難でしたが、現在は低軌道衛星を活用した通信サービスが登場したことにより、遠隔臨場が可能となり、移動時間や待ち時間がなく時間を有効に活用することで工事の早期完成に一役買っています。

昨年の７月豪雨で被害のあった災害復旧工事にも活用しており、今後も山地災害の早期復旧に向けて遠隔臨場など新技術取り入れながら取り組んでいきます。


遠隔臨場で現場（上）の資材を署内（下）で確認する様子

地域発NEWS
（森林整備等の取組）

各（支）署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

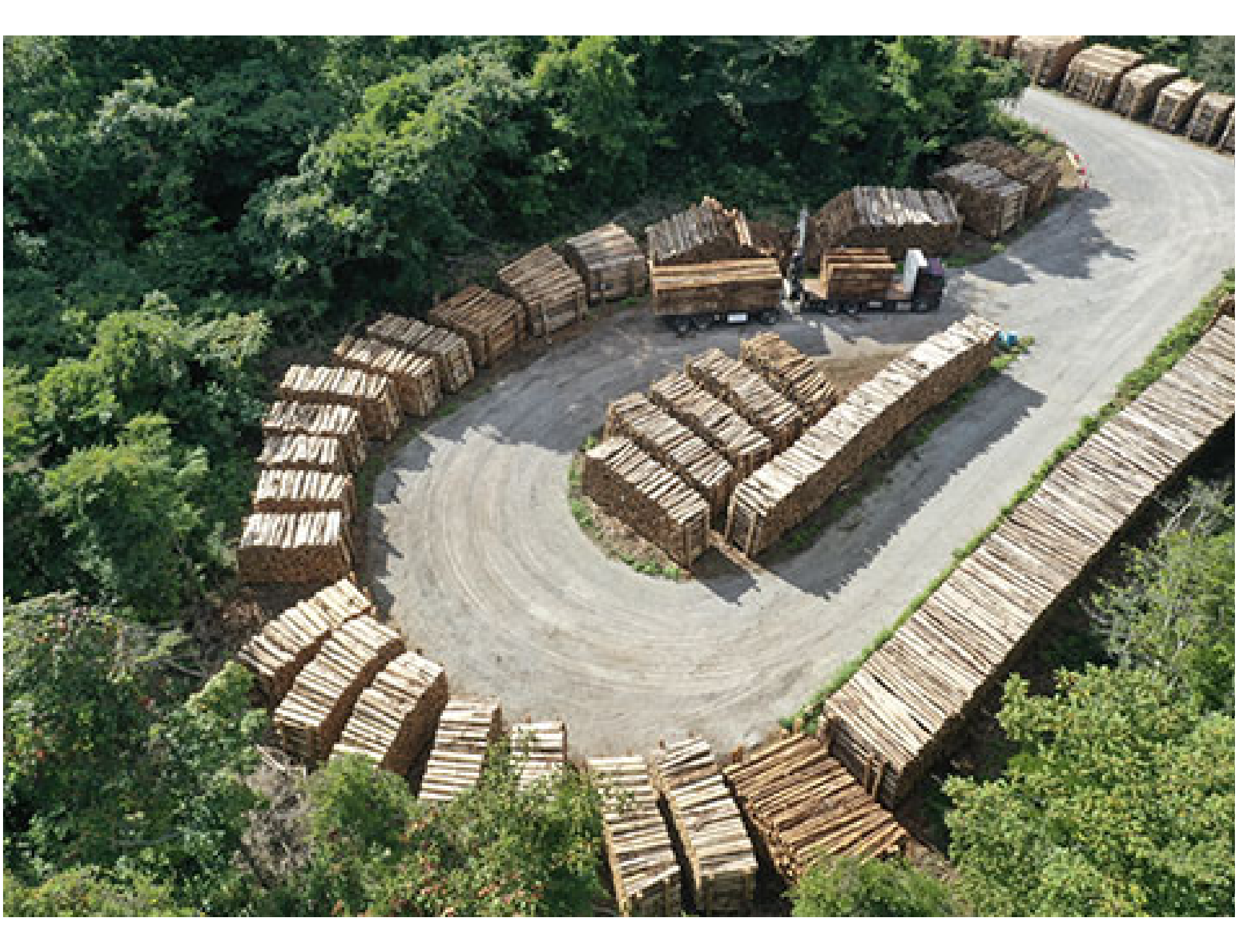
大型トレーラーによる効率的な木材輸送の取組　青森

三八上北森林管理署

国有林では、間伐などの森林整備を推進するとともに、その中で伐り出された木材については地域の木材加工工場、製紙工場、バイオマス発電所等に向け、安定的に供給しています。

この時、伐採現場から工場等まで木材を効率的に運搬するため林道等の整備が重要となります。

当署では、一度に多くの木材を運搬できるよう、大型のフルトレーラーやセミトレーラーが安全に進入し効率的に作業ができるロータリ型の車廻しを設置し丸太置場として利用するなど、効率的な木材輸送に向けた取組を行っています。


ロータリ型の車廻しでの積込み作業

今後も森林整備とあわせて林道等の整備を進め、木材の安定供給体制の構築に取り組んでいきます。

国有林内の林道を走るフルトレーラー

森吉山とその周辺における木材生産と希少種への配慮　秋田

米代東部森林管理署上小阿仁支署

当支署における令和７年度の生産事業量は６万㎥を計画しています。そのうち「森吉山とその周辺（森吉エリア）」における生産事業量は約１万５千㎥と約25％を占めており、木材を安定的に供給していくうえで重要なエリアとなっています。生産された材は、通常、土場に置いて販売の手続きを経て工場へ運材されますが、一定期間を要することから材への虫害が一つの課題となっています。そのため、虫害が発生しやすい山元土場での滞留時間を短くし、木材を直接そのまま工場に運材する取り組み（直送）を進めており、今年度は森吉エリアから３千㎥を直送しています。

一方で、森吉エリアには希少種の一種であるクマゲラの生息に関する情報が数多く寄せられる地域でもあります。クマゲラは、太くて古い広葉樹（ブナ）に穴をあけて巣を作り、枯れ木や倒木に住むアリなどを食べて暮らす、個体数の少ない貴重な種です。

「もし、クマゲラの営巣木やねぐら木が確認された場合はどうするの？」当支署では、確認されている営巣木のある箇所から一定区域を禁伐区としています。また、禁伐区以外における事業実行については、営巣期は避けて作業を行わない、営巣に適すような広葉樹が存在した場合は保残するといった配慮に努めています。

このように特に森吉山エリアでは、木材生産といった地域産業の重要性と希少種への保護・配慮が必要不可欠と考え、双方の重要性を尊重しながら事業に取り組んでいます。

森吉エリアの広葉樹林

地域発NEWS
（病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組）

各（支）署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をしたりしています。

白神山地における森林保護員の保全活動　青森

津軽森林管理署

森林保護員（愛称「グリーン・サポート・スタッフ」以下「GSS」）は、世界自然遺産や百名山を含む地域の登山者等の増加による植生荒廃等が懸念される地域を対象に、登山道等の保全・整備（応急措置等の簡易なもの）、植生荒廃・盗掘等の把握、登山者等へマナーの普及啓発等を目的として、活動しています。

今年度、当署のGSSは、鰺ヶ沢町・深浦町・西目屋村の白神山地世界遺産地域とその周辺地域において６月～９月の期間、活動しました。この間、「白神山地世界遺産地域合同パトロール」（白神山地世界遺産地域連絡会議主催）にも参加して入山者への声掛けやマナーチラシを配布するなど保全意識の向上を図りました。なお、その様子は、当署ホームページ掲載の「わいはぁ通信」で紹介していますので、そちらをご覧ください。

現在、白神ライン（青森県道岩崎西目屋弘前線）の通行止めにより、奥地まで入山できない状況ですが、山に入る際は、家族に行き先と帰りの時間を告げる、単独行動は控える、スマホ、熊対策の鈴、予備の食料を持つなどして、決して無理のない行動をお願いします。

『わいはぁ通信』→

外来植物侵入防止マット清掃（十二湖崩山登山道入口）

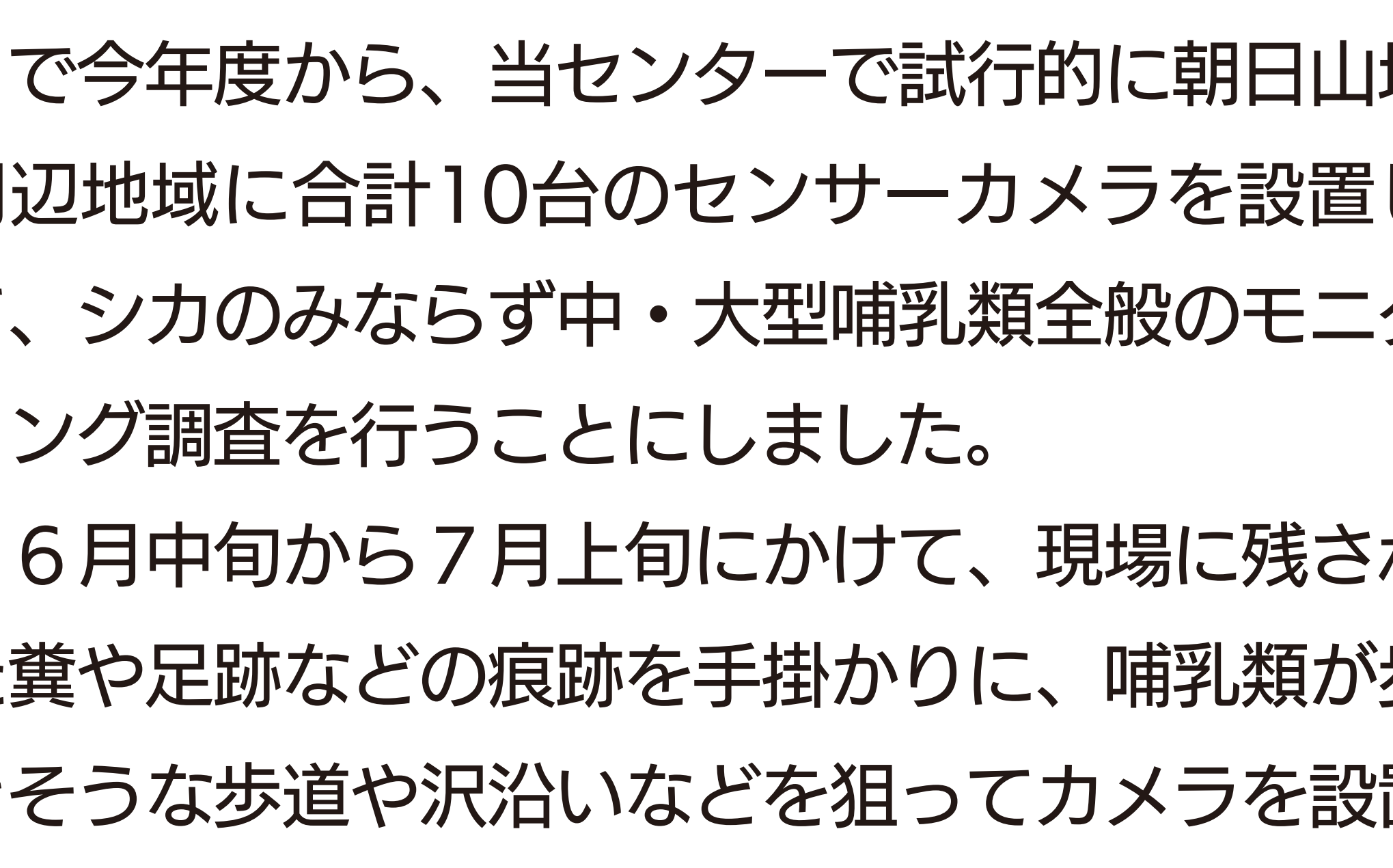
朝日山地で中・大型哺乳類調査開始　山形

朝日庄内森林生態系保全センター

東北森林管理局では、令和元年度より朝日山地周辺の10箇所で『ボイストラップ』という調査を行ってきました。本来ニホンジカの鳴き声を録音してシカの侵入状況を把握する手法ですが、山形県内では現在イノシシの被害が顕在化しており、さらに近年人身被害が多発しているツキノワグマの生息状況や、外来種のアライグマやハクビシンの侵入状況も気がかりとなっていました。そこで今年度から、当センターで試行的に朝日山地周辺地域に合計10台のセンサーカメラを設置して、シカのみならず中・大型哺乳類全般のモニタリング調査を行うことにしました。

６月中旬から７月上旬にかけて、現場に残された糞や足跡などの痕跡を手掛かりに、哺乳類が歩きそうな歩道や沢沿いなどを狙ってカメラを設置していきました。７月中旬以降からデータの回収作業を進めていますが、早速イノシシやツキノワグマなどが撮影されていました。これから降雪前の晩秋まで調査を継続して、撮影された種と個体数を記録していきます。本調査の様子については、当センターの広報誌にも掲載しましたので、そちらもぜひご覧ください。

広報誌『朝日庄内の風』→



撮影されたイノシシの親子

地域発NEWS
（ふれあい・管理・総務等の取組）

各（支）署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

地元高校生への植樹指導　秋田

藤里森林生態系保全センター

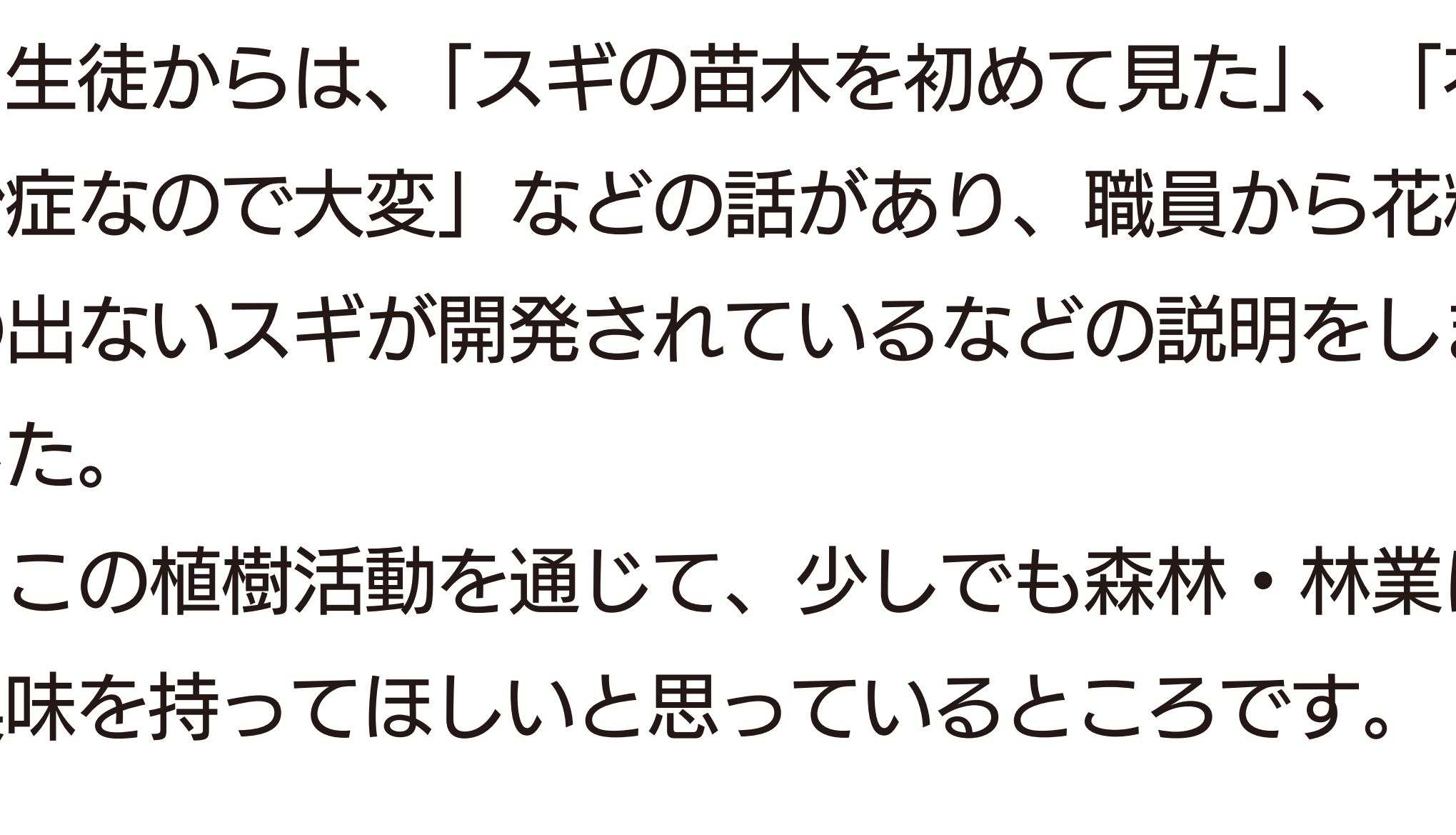
令和７年６月13日（金）、NPO法人あきた白神の森倶楽部が主催した植樹「みんなで木を植えよう」が藤里町粕毛地内の民有林で行われ、当センター職員４人が能代高校定時制課程二ツ井キャンパス１、３年生46人の生徒たちに、植樹指導などを行いました。

植栽するスギのコンテナ苗は、通常の苗木（裸苗）より根が小さく筒状になっているため、唐鍬で大きな植穴を掘る必要がなく、専用器具（ディブルなど）で植穴を開けて植えられることから、作業がとてもスムーズに出来ます。

生徒たちは３人一組のグループに分かれて、主催団体と当センター職員から、植え方のコツを教えてもらい、器具に体重をかけて植穴を開け苗木を優しく入れて足で根元を踏み固めていました。慣れない作業に戸惑いながらも、約１時間で用意された300本のスギ苗木の植樹を終えました。

生徒からは、「スギの苗木を初めて見た」、「花粉症なので大変」などの話があり、職員から花粉の出ないスギが開発されているなどの説明をしました。

この植樹活動を通じて、少しでも森林・林業に興味を持ってほしいと思っているところです。



植樹の様子

森と仲良くなる一歩！ 下刈鎌で林業体験　秋田

秋田森林管理署

秋田市立中通小学校からの依頼に応じ、５年生39人を対象とした下刈り体験と森林散策を９月26日（金）に実施しました。

午前中のメニューは、大仙市協和にある大川前国有林のスギ植栽地での下刈りです。始めに山の手入れの意義や鎌の使い方などを学び、防蜂網を装着した児童は、６班に分かれて作業開始。

スギに絡んだツルを外した後、東北森林管理局と当署の職員から手ほどきを受けつつ、初めて触る大きな鎌を使って慎重に下草を刈り進めます。

ツルで曲がっていたスギがまっすぐになり、下草が刈り払われていくにつれて、児童たちの表情は生き生きと変化していきました。

昼食後は、秋田市河辺の岩見峡に移り、秋田県森の案内人協議会の方々から植生の多様さや笹舟の作り方などを学びながら、伏伸の滝や渓流沿いを散策。普段は都市部で暮らす児童から「下草刈りのコツを教えてもらい、きれいにできてうれしかった」「山は怖いと思っていたけれど、来てみたらすごく楽しかった」といった声が聞かれました。

児童たちにとって今回の行事は、遠くにある森林に関心を持つきっかけとなったことでしょう。

「大きく育て」と下草を刈る児童たち

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手県紫波（しわ）郡（ぐん）紫波（しわ）町（ちょう）

盛岡森林管理署

人　口 32,483人（R7.9.30現在）
面　積 238.98㎢
市町村の木 けやき　**市町村の花** ききょう

紫波町は、奥羽山脈と北上山地に囲まれ、中央には北上川が悠々と流れる自然豊かなまちです。もち米・リンゴ・ブドウの生産が盛んで、日本酒の酒造り集団「南部杜氏」発祥の地という歴史もあり「酒のまち」を掲げたまちづくりが盛り上がりを見せています。

　伝統的な酒造りがユネスコ無形文化遺産に登録され、日本三大杜氏のひとつ「南部杜氏」発祥の地である紫波町は、醸造家をはじめとしたお酒人材の育成、酒造りに関わる人を増やす取り組みを始めています。

母なる東根山から続く滝名川

　時を遡ること江戸時代、近江商人が紫波の地を訪れて目にしたのは「豊かな杉群」と「滾々と湧き出る甘くてやわらかな水」、そして「風に揺れる黄金の稲穂」でした。日本酒造りに必要な材料がすべて揃っており、真面目で努力家な岩手の人柄もあって日本酒（当時は澄み酒）造りが始まりました。

本州北限の山田錦（酒米）

　日本酒を仕込む冬季は米農家にとっては閑散期であり、東北の凍てつく寒さは酒造りにもってこいの環境でした。近江商人の村井権兵衛は、大阪池田から酒造りのプロを呼び紫波の地元農家を中心に酒造りを教えます。その技術が南部杜氏の基礎となり、今なお受け継がれ銘酒を醸し続けているのです。

南部杜氏の酒造り

　そんな紫波では近年、100年以上続く日本酒蔵の他に、ワイナリー、りんごのお酒を醸すサイダリー、「その他の醸造酒」を醸すブルワリーが立ち上がり、 3万3千人の小さなまちながら10か所の酒造り拠点を有する酒のまちへと進化を遂げています。

りんごのお酒、ハードサイダー

　おいしい水、米、リンゴ、ブドウがお酒に醸されて日本中の皆さんに愛されています。

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
紫波町商工観光課　Tel. 019-672-2111（代表）

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

秋田県大館市

米代東部森林管理署

人　口 64,414人（R7.9.30現在）
面　積 913.22㎢
市町村の木 秋田杉　**市町村の花** キク

秋田県大館市は、秋田県の北部、北東北３県の中心に位置し、秋田県内陸北部出羽山地を縫って流れる米代川と長木川の清流沿いに開けた大館盆地にあります。古くから農業、林業、鉱業などが栄え、現在は環境・リサイクル産業や医療機器などの健康産業を基盤に、美しい自然環境と伝統・文化が融合したまちづくりを進めています。

　みなさんはご存じでしょうか？大館市は忠犬ハチ公の生まれ故郷であり、秋田犬発祥の地です。忠犬ハチ公を縁に東京都渋谷区との交流が長年続いており、様々な取り組みにより活性化を図っています。また、秋田犬保存会の本部があり世界中の秋田犬を管理するとともに、運営する国内唯一の秋田犬の博物館室に多くの貴重な資料が展示されています。一方、大館駅前にある大館市観光交流施設秋田犬の里では、秋田犬が日替わり（月曜日はお休み）でそれぞれの特徴ある愛くるしさで訪れる観光客を魅了しています。

大館というところ

大文字祭り花火大会

　このほか、矢立峠・県立自然公園田代岳・竜ヶ森、そして大館市のシンボルである国内最大級の「大」の字を有する鳳凰山など登山や散策で雄大な自然を満喫でき、本場大館きりたんぽや比内地鶏などのグルメ、秋田杉を用い職人の熟練の技で作りあげられる大館曲げわっぱ、石田ローズガーデンのバラや藤の郷のフジなどの季節を彩る花々…こちらで紹介しきれない多種多様な当市ならではの魅力で皆様をお待ちしております。

比内地鶏つがい

曲げわっぱのおひつ

　『大館というところ。』
　ぜひ一度、遊びに来てくださいね！

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
大館市役所観光課観光振興係　Tel. 0186-43-7072

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

林業のすばらしさ

山形

荒生木材有限会社
荒生 周吾さん

私の勤務する荒生木材有限会社は山形県酒田市の八幡地区に位置しており、主に素材生産を中心に活動しています。私は農林大学校の林業科で資格を取り、知識を得て祖父が始めた会社に入社しました。入社して２年になるのですが、最初は１日チェンソーを持って作業しただけで腕が筋肉痛になり次の日仕事ができるか不安になりました。しかし段々と作業していくうちに体も慣れ自然と共に仕事ができる林業が魅力的な仕事だと感じました。

私の住む山形県は山に囲まれており林業をするためにある場所だと思います。作業する場所では鳥海山がきれいに見えるところもあり、標高の高いところで皆伐を行うと酒田市の田んぼや海が見え、その景色を見た瞬間頑張ってよかったとやりがいを感じます。

最近は伐倒作業だけではなく、林業機械での集材、搬出作業なども行っていて労力がかからず簡単に作業できる反面、操縦の難しさや周囲の確認など危険と隣合わせの職業だと改めて痛感しました。少しでも労災事故が起こらないように朝礼でのリスクアセスメントの確認や声を掛け合い毎日作業しています。

自然が好きな人やアウトドアの好きな人も山の中でしか感じられない鳥の鳴き声や木洩れ日など魅力いっぱいの林業をぜひ体験してほしいです。

伐倒作業の様子

伐倒方向が狙った場所に倒れたときや長い現場仕事が終わったときの達成感は今まで味わったことがない爽快な気持ちになります。体を動かし健康的なかっこいい仕事をしてみませんか？

国有林の最前線で奮闘中

岩手

岩手南部森林管理署遠野支署附馬牛森林事務所
主任主事　吉永　雄弘さん

当森林事務所は、岩手県遠野市の北部にあたる附馬牛町および松崎町駒木の国有林約12,000haを管理しています。管内には、日本百名山に選ばれている早池峰山の一部や、紅葉の名所である重湍渓が所在しています。

遠野は郷土芸能が盛んな地域で、私自身も綾織しし踊り保存会に所属し、研鑽を積んでいます。また、今年で50回目の公演を迎えた遠野物語ファンタジーにも役者として携わっています。これらは業務と直接は関わりませんが、遠野支署と地域との結びつきを感じます。

森林事務所の仕事は、国有林と民有地との境界の点検、大雨後の林道点検、区域内の木の高さ・太さ等の調査、健全な森林づくりのための下刈や間伐等の事業の監督などと多岐にわたります。入庁３年目で業務経験が限られるため、不明点は支署の職員に確認しながら仕事を進めています。

現場での作業は、天候によって予定が変更になることも多く、その場で瞬時に的確な指示を出す必要があり、緊張してもたついてしまうこともあります。作業をしている中で経験豊富な先輩職員から山の見方や作業の段取りを教えていただき勉強しています。

豊かな自然に囲まれながら、国有林管理に携わるこの職場で一緒に働いてみませんか。

「遠野市産業まつり」スタッフ業務の様子

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

青森県

11/12（水）～30（日） ビッグイエロー2025

北金ヶ沢の大銀杏で日本一の大イチョウをライトアップ!!

主催 （一社）深浦町観光協会

11/24（月） 第3回気候変動ゼミ

気候変動や地球温暖化のことを一緒に考えてみませんか？（要申込）

主催 八戸市

11/29（土）～30（日） ひろさき工芸体験ワークショップ

弘前の伝統工芸「こぎん刺し」と「ブナコ」で、ぬくもりのある作品を作ってみませんか？

主催 弘前市指定管理者 ひろさきトールツリーグループ

12/7（日） クラフト教室 ～クリスマス飾り～

自然素材を使ったクラフト教室です

主催 青森県立自然ふれあいセンター

秋田県

11/15（土） つなげていこ！あきた里山の集い2025 in 横手

特別講演会、座談会を通して、ご参加の皆様と里山について想いを共有し、新しい里山づくりの一歩に繋げます

主催 りんご三山友の会・あきた里山ネットワーク

11/22（土） クリプトンの森の素材でつくる「クリスマスリース」

森の素材を使って、クリスマスリースを作ります（参加費：大人2,000円、子供700円）

主催 秋田県森林学習交流館 プラザクリプトン

12/6（土） 森の市

マルシェやワークショップなどが集まったイベント「森の市」でのんびりと過ごしてみませんか？

主催 （一社）白神山地ふじさと観光協会

12/21（日） スノーシューで後生掛・大湯沼へ行こう

温泉の沼「大湯沼」を見下ろす絶景ポイントを目指すスノーシューハイキング

主催 八幡平ビジターセンター

岩手県

11/8（土）～9（日） 動物が暮らす森の公園 ～ZOOっと一緒に森づくり～

薪づくり、野外レク、クラフト製作等

主催 もりおか自然共生の森林づくり実行委員会

11/16（日） 木工教室 干支の置物「午（うま）」

木材加工用機械作業資格者が丁寧に指導しますので初めての方も安心。材は白く柔らかな美しい岩手県産ユリノキを使用。

主催 岩手県県民の森

11/16（日） 森の観察会「木の実クラフト体験」

子どもも楽しめるような、小物やおもちゃなどを作製します。（要予約）

主催 岩手県滝沢森林公園 野鳥観察の森ネイチャーセンター

11/22（土）～23（日） 釜石まんぷくフェス2025

海産物をはじめとしたご当地グルメが食べられるほか、働く自動車展やのりもの広場も行います

主催 釜石市

11/29（土）～12/1（月） 木育ひろば「木こりんパーク」

木工教室、木のおもちゃで遊ぶコーナー

主催 奥州市

12/21（日） 新雪の網張の森でクリスマス気分☆

スノーシューハイキング（要申込、参加費：子供400円、大人800円）

主催 網張ビジターセンター

12/21（日） 早池峰神楽舞納め

1年の締めに神様に感謝をあらわすため、優雅な舞の大償神楽、勇壮な舞の岳神楽が奉納されます

主催 花巻市

宮城県

11/9（日） 東松島市産業祭

東松島市自慢の“いいとこ、いいもの、おいしいもの”を知って味わう1日

主催 東松島市

11/20（木） 秋の里山散策 ～青陵の森に秋を探しに行こう！～

「青陵の森」の自然と歴史を学びながら秋の里山散策を楽しみましょう!

主催 せんだい環境学習館たまきさんサロン

12/1（月）～'26 3/31（火） 七ヶ宿ダム冬のイルミネーション

ダムの監査廊（点検用の通路）を利用した「冬のイルミネーション」（要事前予約）

主催 七ヶ宿ダム管理所

12/6（土）～'26 3/1（日） 宮城県公文書館企画展「追憶のみやぎ－昭和の植樹祭－」

昭和30年に大衡村で開催された植樹祭の様子と当時の宮城県の緑化事業などについてパネルで紹介

主催 宮城県公文書館

山形県

11/15（土） 羽黒山へ御瀧神社から歩こう

旧参道（御瀧神社ルート）を羽黒山まで歩き、普段とは違う羽黒山を楽しみましょう（参加費1,500円）

主催 月山ビジターセンター

11/15（土）～16（日） 暮らしに山形の木を活かすワークショップ

県産広葉樹材使用の木工品展示販売、ワークショップなど

主催 広葉樹を暮らしに活かす山形の会

12/6（土）～7（日） 冬の森感謝祭！第156回森の遊学塾

クリスマスや正月に向けて楽しいワークショップを開催します

主催 山形県遊学の森

オンライン

11/8（土）・'26 2/23（月） 森林の仕事オンラインガイダンス

森林の仕事について興味がある方から、林業に就きたい人まで気軽に参加できる林業についてのオンライン説明・相談会

主催 全国森林組合連合会

11/21（金） 令和7年度子ども農山漁村交流プロジェクトオンラインセミナー

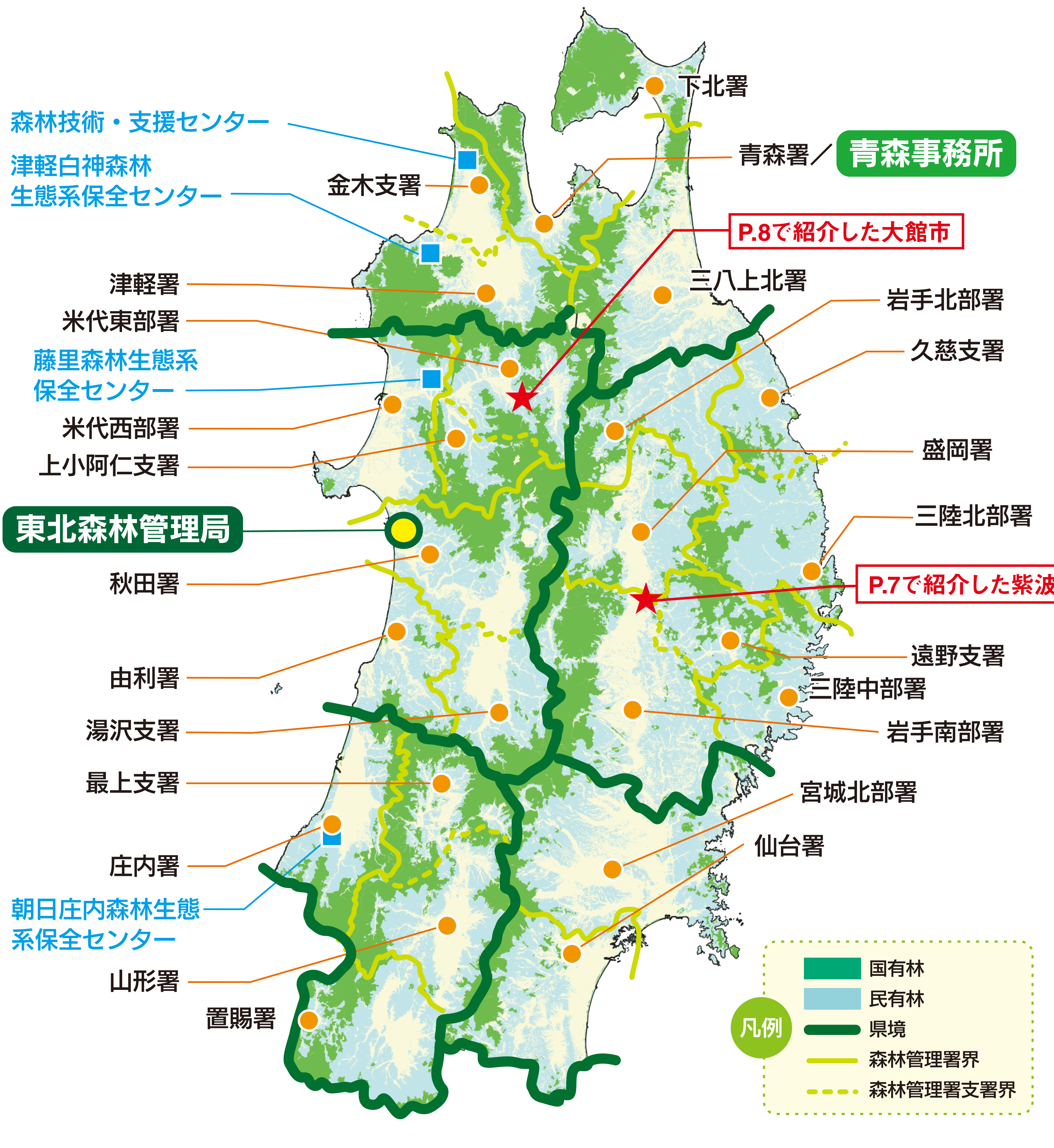
農山漁村の資源・課題×探究的な学習×宿泊行事から生きる力の育成と関係人口の創生へ

主催 総務省/内閣官房/文部科学省/農林水産省/環境省

※掲載内容は、天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓


森林技術・支援センター
津軽白神森林生態系保全センター
金木支署
下北署
青森署／青森事務所
P.8で紹介した大館市
三八上北署
津軽署
米代東部署
岩手北部署
久慈支署
藤里森林生態系保全センター
米代西部署
上小阿仁支署
盛岡署
東北森林管理局
三陸北部署
秋田署
P.7で紹介した紫波町
由利署
遠野支署
三陸中部署
湯沢支署
岩手南部署
最上支署
宮城北部署
庄内署
仙台署
朝日庄内森林生態系保全センター
山形署
置賜署
凡例
国有林
民有林
県境
森林管理署界
森林管理署支署界

お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841

東北森林管理局

〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

みどりの東北
Midori no Tohoku
No.260
●発行日／令和７年11月
●発行／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページも
ぜひご覧ください
https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/

表紙写真

御釜（別名：五色沼）は、宮城県と山形県の県境に位置し、蔵王連峰（蔵王国定公園）の火山群のうち五色岳の中にあり、噴火後の火口に水がたまって出来た火口湖です。天候等諸条件によって湖水の色がエメラルドグリーンやるり色などに変化が見られることから五色沼とも呼ばれ、豊かな表情を見せてくれる蔵王のシンボルです。